



保健だより

2020年 令和2年 9月号 (第435号)

発行 那覇市こども教育保育課 ☎098-861-2113

9月9日は
救急の日

子どもの事故を予防しましょう！



子どもは、日々、目まぐるしく成長し、好奇心旺盛で色々なものごとに興味をもつようになります。この時期は、一生のうちで最もケガが多いと言われています。

家庭内で事故を防ぐためにも、日頃から、子どもの目線に合わせ、時には子どもの背丈まで腰を下ろして、家の中を点検してみましょう

チェックのポイント

- 薬**や**洗剤**、**たばこ**、**電池**などの出しっぱなしや子どもの手の届くところにおいていませんか。
- ポット**や**炊飯器**は子どもの手の届くところにおいていませんか。
- ベランダに**踏み台**になるものをおいていませんか。
- 刃物**は子どもの手の触れないところにしまっていますか。
- 食事中**に遊ばないようにしていますか(食べ物を詰まらせることがあるため)。
- 浴室**は子どもが1人で勝手に入れないようにしていますか。
- コンセントガード**などでいたずらができないようにしていますか。



子どもは、目を離れた**一瞬の間に**…「**溺れる**」「**転倒する**」「**物を口に入れて詰まらせる**」ことがあります。

どんなに気をつけていても、子どもの**予測のつかない行動**にヒヤッとさせられることがあります。いつでも事故が起こり得ることを忘れずに、子どもを事故から守り、普段からケガにつながらない備えを心がけましょう。

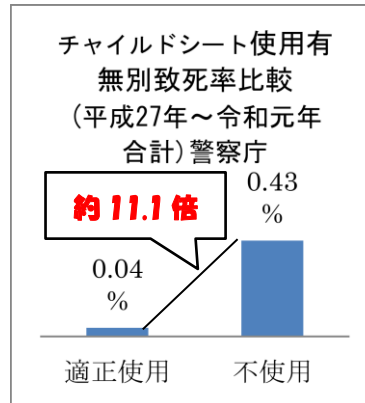
まだまだ残暑が続きます。夏の疲れが出やすくなる時期なので、ゆっくりお風呂に入り、たっぷり睡眠をとるなどして、残暑を乗り切り元気に過ごしていきましょう。



チャイルドシートで守ろう！こどもの命

平成30年に、警察とJAFによる調査によりますと、沖縄県のチャイルドシートの平均使用率は、**50.0%**(全国平均66.2%)という極めて低い結果となっています。

〈チャイルドシートを着用しない場合の危険性〉



チャイルドシート不使用の場合の致死率は、使用(適正使用)の場合の致死率に比べ**11.1倍**高くなります。“チャイルドシートの適正な使用が、交通事故の被害軽減につながっている”ことが分かります。

チャイルドシートは、使用方法を誤ると、効果がなくなりますので、取扱説明書などに従って正しく使用しましょう。

速度40キロで走行中に事故にあった場合に、体に加わる力は体重の**10倍**になり、抱っこで子どもを支えることはできません。そのため、チャイルドシートを使用していない状態で事故にあうと、車外に放り出されたり、ダッシュボード等に激しくぶつかったりする恐れがあります。また、抱っこした状態で運転をすると、ハンドルの間で押しつぶされてしまい、大変危険です。

乳幼児健診について(9月)

乳児健診・1歳6か月健診・2歳児歯科健診・3歳児健診の日程については、那覇市保健所ホームページをご参照下さい。

お問い合わせ先 那覇市保健所 地域保健課 ☎098-853-7962